

30年後の 社会を考える

2018年3月21日(水/祝) 14:00-17:00 名古屋工業大学2号館1階0211教室

人口減少によりわが国の社会構造は間違いなく変化する。そこで30年後という、近い未来をあえて設定し、30年前から今日まで社会と技術の関係はどのように変化してきたか、いま現在、30年後の兆しは見えているか、様々な視点を交えて議論したい。

●**センター長挨拶**：秀島栄三（名工大、土木工学）／工学技術の社会貢献に向けて

【第Ⅰ部】

工学技術の誇りと反省

<人間 × 機械>

<パネリスト>

とくた

井上 恵太（コンポン研究所 元代表取締役
役所長、東北大学未来科学技術共同研究
センター・シニアリサーチフェロー）

佐野 明人（名工大、機械工学）

大貫 徹（名工大、比較文化）

<コーディネーター>

浜田 恵美子（元名工大、産学連携）

【第Ⅱ部】

シビックテックとまちづくりの未来

<コミュニティ × エンジニア>

<パネリスト>

ひるた

晝田 浩一郎（Code for AICHI、岡崎市職員）

白松 俊（名工大、情報工学、Code for Nagoya）

小田 亮（名工大、比較行動学）

<コーディネーター>

三矢 勝司（岡崎まち育てセンター・りた、まちづ
くり）

【クロージングセッション】大貫徹、浜田恵美子、井澤知旦（名工大客員教授、都市政策）による鼎談

■お申込み方法

参加者氏名、所属、連絡先を記載の上、メールにてお申し込みください（**3/19 締切**）。

メール community-c@lab-ml.web.nitech.ac.jp

※資料準備の都合上、事前申し込みにご協力ください。

※いただいた個人情報は、コミュニティ創成教育研究センターの情報提供に使わせていただきます。



パネリストの紹介

▼第Ⅰ部



井上 恵太 (コンポ
ン研究所 元代表
取締役所長。東北
大学未来科学技術
協同研究センター
シニアリサーチ
フェロー)

1939年生まれ。京都大学大学院工学研究科修士課程（機械工学専攻課程）終了後、1963年、トヨタ自動車入社。新設の東富士研究所へエンジングループの第一陣として赴任。それ以来、一貫してエンジンの先行研究、開発に従事。1996年よりトヨタグループが科学・技術・社会に関する課題を根本から研究することを目的とした（株）コンボン研究所の設立に参画し、2001年、代表取締役所長。現在は、東北大学未来科学技術協同研究センターシニアリサーチフェロー。



佐野 明人 (名古屋工業大学大学院教授、機械工学)

1963年生まれ。博士(工学) (名古屋大学)。自然が織りなす歩行のダイナミクスを体で感じながら、ヒトに近い歩行・走行の構築や軽やかな歩行支援を行う研究を進め、2014年、世界初の無動力歩行支援機『ACSIVE』を発表。自らの力で自らを支援し、歩けることが実感できる歩行支援機の開発を進めている。



大貫 徹 (名古屋工業大学大学院教授、比較文化)

1953年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。初代コミュニティ創成教育研究センター長、教育改革担当副学長、工学教育総合センター長等を務めた。専門分野は比較文化。名工大勤務を契機に「工学教育のあり方」にも関心を抱き、2014年には公益社団法人・日本工学教育協会・工学教育賞を受賞。



浜田 恵美子 (国立研究開発法人科学技術振興機構 A-STEP第三分野プログラムオフィサー、日本ガイシ株式会社社外取締役、名古屋大学客員教授、元・名古屋工業大学産学官連携センター教授)

1988年に太陽誘電㈱在職中にCD-R（記録できるCD）を発明。その後、CD-R、DVD-Rなどの事業化を経て、2008年より名古屋工業大学に勤務。在職中にコミュニティ創成教育研究センター設立に関わる。現在は、国の研究資金配分に関わる職務を始め、企業や大学、NPO等で幅広く活動中。(博士(工学)、MBA)

▼第Ⅱ部



ひるた
晝田 浩一郎

(Code for AICHI、岡崎市職員)

市役所に勤務しつつ、2016年に業務外有志団体「ここdeやるZone」を設立、空き店舗撲滅運動を開始。2017年にはCode for AICHIを設立、ビジネスマン、エンジニアや学生等の幅広い人達を繋ぎ、解決策のアイデアを実装する“シビックテック”の活動を展開。人と人、人と地域を繋げ、公私両面で地域活性化に取り組む。



白松 俊 (名古屋工業大学准教授、情報工学)

1976年千葉県生まれ。京都大学大学院情報学研究科博士課程修了、博士(情報学)。Code for Nagoyaの名誉代表20名の1人。研究対象は、シビックテックやオープンデータ、合意形成の支援機構、など。最近ではファシリテーション機構の実現を目指す研究プロジェクトの中で、議論内容や場の空気の解析手法を開発中。



小田 亮 (名古屋工業大学大学院教授、比較行動学)

1967年徳島県生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。博士(理学)。京大霊長類研究所教務職員、名古屋工大講師、准教授を経て現職。専門は自然人類学・比較行動学。霊長類を対象に心と行動の進化について研究。主著に「サルのことば」「約束するサル」「ヒトは環境を壊す動物である」「利他学」。



三矢 勝司 (NPO岡崎まち育てセンター・りた事務局次長)

1975年岡崎市生まれ。千葉大学大学院(建築専攻)修了。2006年にNPO岡崎まち育てセンター・りたを設立、事務局長を務めた(国土交通大臣賞受賞)。名工大コミュニティ創成教育研究センター・特任助教(2012~14)を経て2015年りたに復帰。専門は、参加のデザイン、まちづくり支援組織論。博士(工学)。



井澤 知旦 (名古屋学院大学現代社会学部教授、名古屋工業大学客員教授)

名古屋工業大学大学院修士課程(建築学)修了後、民間シンクタンクを経て1990年に(株)都市研究所スペースシアを設立。三重大学で博士(工学)を取得。地域活性化や都市再生、防災、観光振興等の東海地方のまちづくりの支援、提言を行う。2012年より名古屋学院大学教授、2017年より名古屋工業大学客員教授。